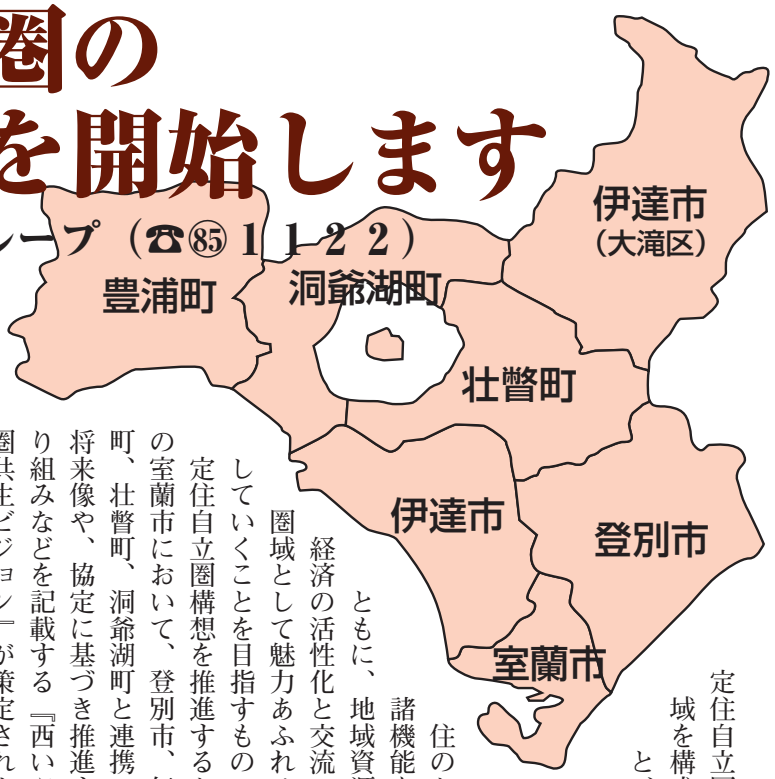
定住自立圏の取り組みを開始します

問い合わせ　企画グループ（☎85 1122）

まちの光が奏で合い、暮らしが輝き、未来を拓（ひら）く西いぶり



定住自立圏構想は、圏域を構成する中心市と、関係市町が協定によって、連携と役割分担を行い、定住のために必要な諸機能を確保するとともに、地域資源を活用した経済の活性化と交流の促進を図り、圏域として魅力あふれる地域を形成していくことを目指すものです。

定住自立圏構想を推進するため、中心市の室蘭市において、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町と連携の上、圏域の将来像や、協定に基づき推進する具体的取り組みなどを記載する『西いぶり定住自立圏共生ビジョン』が策定されました。

定住自立圏の取り組みは、共生ビジョンにより、国からの財政措置（交付税など）を活用しながら、今年度から次のような事業を推進していきます。

なお、共生ビジョンの計画期間は、平成23年度から平成27年度までの5年間とし、毎年度所要の見直しを行います。

共生ビジョンは、市ホームページ（http://www.city.noboribetsu.lg.jp/）や、市役所1階市民コーナー、各支所、市立図書館、市民会館、市民活動センターで閲覧できます。

定住自立圏の主な取り組み

※主に登別市で平成23年度当初予算に計上した事業を掲載しています。
※地図中の網掛けした市町が、事業の連携市町です。
※ＩＣＴとは、Information and Communication Technologyの略で情報通信技術のことです。従来頻繁に用いられてきた『ＩＴ』とほぼ同様の意味で用いられています。

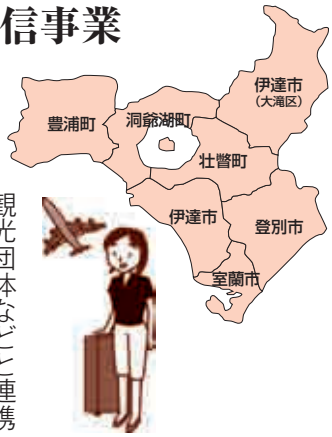
広域観光サービス提供促進事業

広域観光の推進

観光団体などと連携し、地域資源を活用した観光プログラムやルートの開発をはじめ、ホスピタリティの向上に向けた人材育成、旅行者目線に立った施策を展開するための各種調査、一元的な着地型旅行商品の発信や提供を行うためのプラットホームの構築などを行います。

広域観光情報発信事業

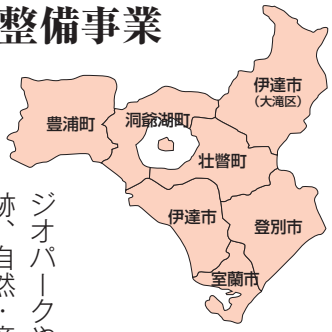
広域観光の推進



観光団体などと連携し、圏域観光情報の統一的で戦略的な発信とともに、アジアを中心とする海外や国内旅行向けのプロモーションを展開し、国内外の観光客誘致を促進します。

広域観光基盤整備事業

広域観光の推進



ジオパークや縄文遺跡、自然・産業施設などの地域資源を活用した広域観光の推進を図るため、各観光エリアにおける拠点施設の整備とネットワーク機能の強化を行います。